



人口・世帯	(4月1日現在)
人口	187,900人 (前月比-47人)
世帯	57,557世帯 (前月比+121世帯)

新緑の季節を迎えた「いこいの森」では、四月二十九日に「春まつり」が開かれ、千人近い家族連れでにぎわいました。

この日は、ウオークラリーや、シヤタケのホダ木作り、丸太の似顔絵作りなど多彩な催物が行われ、森は一日中子どもたちの歓声に包まれていました。

このうち、午後から行われた「ふれあいの森づくり」では、親子連れがミツバツツジ五十本の記念植樹を行いました。子どもたちは、お父さんやお母さんと力を合わせて一生懸命くわを振っていました。

親子で記念植樹

いこいの森の春まつり



元気に育てと願いを込めて植えました



けんらん戦国絵巻

北條五代祭りにぎわう

天守閣を後にする勇壮な武者行列

初夏の城下町を彩る小田原北條五代祭りが、小田原城址公園を中心に五月三日から五日まで行われました。

三日に行われた祭りの呼び物「北條五代武者行列」には、音楽パレード、風俗絵巻パレード、武者行列など総勢二千人が参加し、市内の目抜き通りを練り歩き、歴史絵巻を繰り広げました。

また、今年は一宮尊徳生誕二百年に当たるため市内の小学生二百六人が金次郎にふんし、まきを背負っておなじみのスタイルで登場し、沿道の約七万人の観光客や市民を楽しませました。

郷土文化館分館松永記念館

特別展

小田原と歌舞伎展

～鈴木十郎コレクション中心に～

元小田原市長・故鈴木十郎氏が収集した貴重な歌舞伎資料のうち、歌舞伎の絵画美、様式美を最も端的に表現する「隈取」と、名優の書画、錦絵等を中心に展示し、小田原と歌舞伎のかかわりを紹介します。

また、古くから小田原の寺町にあって、江戸歌舞伎と深いつながりを持った由緒ある

「桐座」の資料や、桐家名跡再興公演の資料を展示するほか、早稲田大学演劇博物館から曾我兄弟に関する歌舞伎錦絵や、「勸進帳」弁慶の衣装が特別出品されます。是非ご覧ください。

日時 5月24日(日)～6月7日(日) 午前9時～午後4時 ただし、月曜日は休館

会場 郷土文化館分館松永記念館

交通 箱根登山鉄道箱根板橋駅下車徒歩10分、箱根行きバス板橋下車徒歩10分

◆ 入場料 無料

◆ 問い合わせ 郷土文化館 ☎1377



歌川国長肉筆画「俳優待春之図」

「母の日」に寄せて

母子寡婦福祉大会が



昭和六十一年度の市母子寡婦福祉大会が五月九日(土)、市母子福祉会の共催によって市民会館で行われました。

この大会は、市内在住の母子・寡婦家庭の約千七百世帯を対象に、日ごろ、苦勞の多いお母さん方へ激励と敬意を表わし、福祉の意識を高揚するために開催しているものです。

大会には、約六百人が参加し、小学校入学や中学校卒業の子どものいる母子家庭に、祝い金が贈られました。

また、顕彰された方には詩人・光山樹太郎さんによる母の詩「五月よ光よ、せめても、母を悲しみの涙では、泣かすなよ」と書かれた色紙が贈られました。

そのほか、前川の家城容子さんの体験発表や、小学生と中学生代表による母への感謝文の朗読が行われ、最後に、お母さん方に花束が贈呈され、小田原少年少女合唱隊による「今日も生きる」の歌声をバックに、盛会のうちに幕を閉じました。

顕彰された方々は、次のとおりです。(敬称略)

中山八重(扇町)、宮川君代(扇町)、加藤シズ子(飯田町)、小石川ヌイ(久野)、登根美智子(板橋)、露木好子(東町)、内田徳子(西大友)、朝倉サ子(曾我会連)

母への感謝のことば

うちの「お母さん」

新玉小五年 加藤眞理

お母さんは、寒い青森から出て来て、お父さんと知り合い、けっこんをしました。それから何年かして、兄と私と妹が生まれて、楽しく暮らしていました。ところが、兄が十さい、私が六さい、妹が五さいの時、お父さんが、とつ然とおれて、なくなりました。お母さんが、家族みんなが、悲しみのあまり、何度も泣き出してしまいました。それから、お母さんが、私たちのために、いっしょけんめい働くようになりました。

お母さんは、病院につとめ、かんじやさんの食事を作っています。私も何度かお母さんの仕事場に行ってみました。作るときの学校の給食室よりもっと広く、作る道具なども大きくてびっくりしました。みんなたいへんな仕事をしていることがわかりました。かんじやさんにもいろいろな病気や

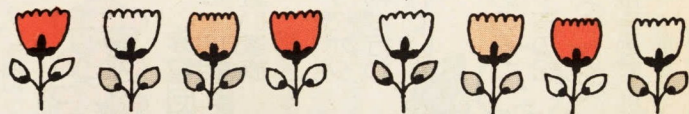
朗読発表文から

けがあつて、その食事一つ一つを作るの、たいへんだそうです。

そんな仕事で帰りがおそくなる時もあります。そういう時は、近くにおばあちゃんがいるので、私たちの夕食を作ってくれます。お母さんがいないと、やっぱりさびしいけれど、仕事したいへんなんだなあ、と思つてがまんします。

幼稚園のころ、こんなこともありましたが、自転車でぶつかつて、首の所を悪くしてしまいました。そして、小沢病院に入院しました。入院している間、お母さんは仕事を休んで、つきっきりで私のめんどうを見てくれました。また、妹が、ほろいさか道で自転車に乗つていて、車とぶつかり、交通事故をおこしてしまいました。その時、お母さんはたいへん心配そうに、ひとばん中、ベッドのそばで、世話をしていました。

お母さんは、「人間だれでも、しよっぱいものとか、からいものとかあまり食べないほうが長生きするんだよ」と教えてくれ



くらしの知識



消費者をだます悪徳商法について、61年11月から新たに2つの法律が施行されました。その主なポイントを紹介します。

1 「現物まがい商法」規制法 (61年11月22日施行)

悪徳商法追放の新法ができました

業者は、取引内容などを記載した書面を必ず客に交付し、また要望があれば、資産内容を公開しなければなりません。また、「不当な勧誘」をすることは禁じられています。

2 「投資顧問業」規制法 (61年11月25日施行)

石、貴金属とそのアクセサリ、盆栽、鉢植え観賞用植物、ゴルフ場及びヨット、モーターボートとその係留施設の利用権などに限られます。

◆相談及び問い合わせ
市民生活課 ☎31398
消費生活センター ☎21151

僕のお母さん

泉中三年 梶 謙一

僕が小学生のころ、母が内職をしていた時期がありました。母の手には、いくつかまができていました。その手を見たところから僕は、生活していくというのは、大変なことなんだなあ、と思い始めたのです。

母は、苦勞を表に出さないけれど、本当は大変な苦勞をしているんだなあ、思つたのです。

母は、怒りっぽく、とても心配性です。ちよつとしたことでも心配します。でも、そういうところも母のいいところのひとつなのかもしれません。母は怒りっぽいところの心配性な性格に加えてもうひとつ、頑固なところがあります。そのためにしよつちゅう



思い出なのです

僕が母に感謝していることは、たくさんありますが、そのなかでも最も感謝していることがあります。それは今でもそうですが、母が勉強などいろいろな面で強制せず、自由によらせてくれたことです。自由にやらせてくれたので、僕は当然のように、勉強などにはほとんど興味をもたず、遊んでばかりでした。でも、それが、結局はよかったのでしよう。今では、いろいろなことに興味をもち、熱意をもつことができるようになりました。それが、僕が母に最も感謝していることです。

父が亡くなってからのこの十三年間、母は、一生懸命に働き、僕たちを育ててきてくれました。今は、僕がもつとしっかりして、母を楽にさせてあげなければなあ、と思います。これからは母を大事にいたわってあげたいと思います。僕のお母さんは僕に楽しい思い出をたくさんくれました。だから今日からは、僕がお母さんに楽しい思い出をつくってあげたい。僕のお母さん、たくさん思い出をありがとう。

おしらせ・おしらせ・おしらせ

教育相談をご利用ください



登校拒否・家庭内暴力・いじめ等のことで、悩んでいらっしゃるご家庭はありませんか。そのような問題は、早期に学校と相談していただくことが望ましいのですが、教育研究所では、新年度から、教育相談員・登校拒否指導員をそれぞれ増員して、教育相談業務を行っています。電話での相談もお受けします。

◆毎月第一・三金曜日
市民相談室(市役所2階)へ出張して相談業務を行います。

◆その他の曜日
小田原市教育研究所(市役所5階) ☎1727(まで)なるべく午前中にご利用ください。

中央公民館で国際児童画展

教育委員会では、カナガワビエンナーレ国際児童画展に入選した作品の展示会を次のとおり開催します。

どの作品も子どもらしく、楽しく、生き生きとしたものがばかりで、お国柄や国民性がよく表れています。

限らない夢と可能性が広がる、世界の子どものたちの絵を、多くの方に観賞していただき、国際理解を深めていただきたいと思います。

市立病院の奨学生を募集



市立病院では、次のとおり奨学生を募集しています。

○資格 現在、看護学校等に在学中の方

○奨学金 月額3万円

◆応募方法
履歴書及び成績証明書を市立病院庶務課(〒250小田原市久野46)へ郵送又は持参してください。

◆採用 書類審査及び面接により決定します。

◆問い合わせ
市立病院庶務課 ☎33175内線604

梅品評会と即売のお知らせ

は、6月下旬に小田原城址公園内の水の公園で行う予定です。日程は広報おだわら6月15日号でお知らせします。

◆問い合わせ 農政課農林係 ☎1494

◆国民年金

87世界古城博覧会

散歩

をずねて

のまったりも



小田原北條五代祭り

二宮金次郎行列

五月三日に行われました小田原北條五代祭りには、二宮尊徳生誕二百年を記念して、小学生による「金次郎行列」も加わり、祭りを盛り上げました。



滋賀県彦根市では、今年、市制五十周年と、国宝・彦根城の築城三百八十年を迎えるに当たり、記念事業として世界古城博覧会を開催しています。この博覧会では、国内・海外の城にまつわる宝物の展示をはじめ各種のイベントやパビリオンが公開されています。



昨年度のミス小田原もお手伝い (3月撮影)

こども曾我物語 ふるさとを



城前寺の籠もろうすぐ

北方の領土かえる日 平和の日

- ◆曾我兄弟の墓のある城前寺を中心に、曾我物語の旧跡などをたずねて歩くコースです。講師の先生のやさしい解説を聞き、ゲームをしたりして楽しみながら郷土の勉強ができます。
- ◆期日 五月三十一日(日)まで
- ◆会場 滋賀県彦根城一帯
- ◆集合 下曾我駅前 午前九時(電車をご利用の場合は小田原発八時二十七分御殿場行直通 富士急行バス)
- ◆コース 下曾我駅前→城前寺→五郎の石→曾我城址→阿弥陀堂→曾我裕信宝篋印塔(昼食)→宗我神社→下曾我竹前
- ◆参加費 無料
- ◆講師 渡辺喜充さん(図書館児童文化専門委員・市立報徳小学校校務、柏倉秀一さん(図書館児童文化専門委員)
- ◆申込み たいま受付中です。図書館児童文化係(☎241055)へ直接又は電話でお申し込みください。定員になり次第、締め切りします。

筆随連載 徳尊宮二

金次郎の出發II

高田 稔

(元・市教育研究所長)

《第2回》

付けて、年貢のからならない方法で、小を積んで大となる現実的な理財の道歩み出すのである。



文化三年、二十歳になった

金次郎は、我が家の屋敷地に帰って来た。生家は既に人手に渡っていたから、彼は小屋を建てて、一人住まいを始めた。そして、まず自家の荒地に畑を入れ始める。

金次郎は、既に文化二年から金銭出納帳をつけているが、その三年のところを見ると、父が質に入れた下田の九畝

文化五年の完来撰句集の中

これ以後、金次郎は、余裕があれば田畑を買入れ、その大部分を小作に出し、手元にはわずかの自作地を残して城下町で給金を得ることが多くなった。こうして、文化七年には、一町五反の土地持ちとなり、生活のゆとりができて、伊勢参りや本格的な家普請をしている。自立してわず

か四年で、金次郎は、既に一人前の農民に成長したのである。しかし、この間、彼は理財の仕事だけに明け暮れたわけではなかった。彼の日記(出納帳)を見ると、既に文化三年から俳句という知的な楽しみを持っている。俳号を「山雪」といい、当時、小田原俳壇をリードした雪中庵完来の門に学んだ。

暮るるとも 思わず花の

山路かな 雪

畑灯らの むくげに衣を

ほす日かな 雪

また、金次郎は、第二人を預けた母の実家へは、弟の養育料のほかに祖母への小遣いや薬代まで送り届けるなど、

文化九年、彼は、小田原藩の家老、服部家に奉公して、若殿の中間となった。三人の子息が私塾に通えば、それに伴ってひそかに先生の講義を聴いた。また、ときには、

細かい心遣いをみせている。文化四年の日記に、下の弟富次郎へ「紙三丈」とあるが、これは寺子屋の手習い用でもあろうか。

若殿の恋の相談相手にもなった。この中間奉公中に、金次郎は「五常講」を始めている。これは、服部家に働く仲間が薪炭などの節約によって積み立てた金を基に、金に困る者があれば貸してやる組織で、人々が「仁、義、礼、智、信」の五常を守り、相互の連帯保証の下に、無利息金を滞りなく回転させようとする仕組みであった。

この時期、金次郎は金の運用、それも個人としてではな

く、組織としての金の有効な使い方について、このように実験と洞察を重ねている。個人の殻を破って社会的に行動しようとする、金次郎の姿をここにみるのである。

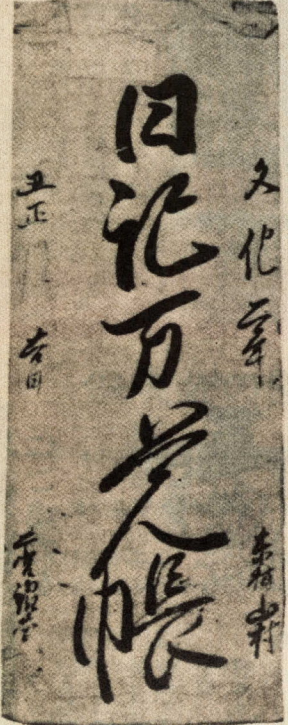
文化十四年、三十一歳のとき、金次郎は妻を迎えた。名を「きの」という。このとき彼は、祖父が父に残した財産を上回る三町八反の土地を持つ、足柄平野でも一流の農家にのしかがっていた。

文化十四年、三十一歳のとき、金次郎は妻を迎えた。名を「きの」という。このとき彼は、祖父が父に残した財産を上回る三町八反の土地を持つ、足柄平野でも一流の農家にのしかがっていた。

文化十四年、三十一歳のとき、金次郎は妻を迎えた。名を「きの」という。このとき彼は、祖父が父に残した財産を上回る三町八反の土地を持つ、足柄平野でも一流の農家にのしかがっていた。

文化十四年、三十一歳のとき、金次郎は妻を迎えた。名を「きの」という。このとき彼は、祖父が父に残した財産を上回る三町八反の土地を持つ、足柄平野でも一流の農家にのしかがっていた。

文化十四年、三十一歳のとき、金次郎は妻を迎えた。名を「きの」という。このとき彼は、祖父が父に残した財産を上回る三町八反の土地を持つ、足柄平野でも一流の農家にのしかがっていた。

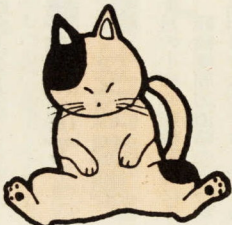


金次郎の日記の表書き(祖父の銀右衛門を名のっている)

おしらせ・おしらせ・おしらせ

引取り場所	時間
引取り場所	時間
片浦支所(寺山神社)	9時30分
早川支所(駅前駐車場)	9時55分
大窪支所	10時10分
中央連絡所(めがね橋)	10時30分
市役所(西側駐車場)	10時50分
富水連絡所	11時15分
桜井支所	11時35分
曾我支所	13時00分
下曾我支所	13時20分
上府中支所	13時35分
豊川支所	13時55分
下府中支所	14時15分
酒匂支所	14時40分
国府津支所	15時00分
橋支所	15時20分

5月の引取り日は22日(金)、時間と場所は表のとおり。次のことに注意してください。①印鑑を忘れず②停車時間は10分間です。遅れないように③猫は麻又は布袋等に入れて④14日以内に人かんだ犬は引き取りません。その犬が人かんだことを保健所



飼えなくなった 犬猫の引取り日

生活環境課 ☎1486 保健所環境衛生課 ☎223 135内線31・32

へ連絡を⑤大型犬・傷病犬猫人をかむくせのある犬は直接県動物保護センターへ。このほか、犬は土曜日を除く平日の午前8時30分から10時、猫は祝日を除く水曜日の午前8時30分から10時まで保健所で引き取ります。動物保護センターでも平日午前9時30分から午後4時、土曜日午前9時30分から11時まで引き取りますからお持ちください。犬猫についての苦情、相談や野犬の捕獲依頼は動物保護センター(☎046333411)へ。

国民年金の障害年金、母子年金、準母子年金、遺児年金、寡婦年金を受給されている方は、5月30日(土)までに「国民年金受給権者現況届」を提出してください。

この「現況届」の用紙は、社会保険事務所から送付されますので、必要事項を記入し押印の上、戸籍住民課又は最寄りの支所・連絡所で市長の証明を受け、期限内に社会保険事務所へ郵送してください。

この届けは、今後引き続き年金が受けられるかどうかを確認する大切な届出です。届出をされませんと年金を受けられなくなり申すので必ず提出してください。

国民年金係 ☎1867 1870

国民年金 現況届の提出を

わたしの提案

◎公共施設に高い関心

《わたしの提案内容別件数》

順位	意見・提案の内容	件数
1	道路や橋の新設、拡幅、補修、道路照明灯に関する事	116
2	文化施設・社会教育施設の新設や整備充実に関する事(公民館、図書館、多目的ホール、美術館、資料館など)	68
3	駅前整備及び小田原駅東西自由通路の建設に関する事	65
4	公園、広場、遊歩道、散策路などの新設、整備に関する事	60
5	駐車場、駐輪場、放置自転車対策、交通規制等に関する事	45
6	福祉施設、医療施設の整備に関する事(福祉センター、老人医療施設、老人ホーム、市立病院など)	38
7	犬のふん、ごみ、公衆便所、海岸・河川の清掃に関する事	36
8	城址公園、一夜城の整備やその他観光施設などに関する事	32
9	運動公園、野球場など体育施設の整備に関する事	31
10	大学、専門校、その他教育機関の誘致に関する事	24
	その他	294
	合計	809

昨年十一月に始まった「わたしの提案」に、みなさんからお寄せいただいたはがきは、今年三月三十一日現在で四百二十二通、八百九件にもなりました。

主な内容は表のとおりです

が、道路・公園・下水道の整備や駅再開発問題、社会教育や体育施設に関するもの、交通安全や環境衛生対策、福祉問題など行政全般にわたってあります。みなさんからお寄せいただいた真剣な意見や提案は、今、関係部課で積極的に検討が行われています。

市では、みなさんの意見や提案を今後のまちづくりに反映させていきたいと思っております。今後も引き続き建設的な意見や提案をお寄せください。

市勢要覧 統計要覧 発売中

市の姿を写真を使って紹介する市勢要覧「おだわら」の87年版と、グラフや表で市の姿を紹介する「小田原市統計要覧」の61年度版ができました。

次のところで発売中ですので、ご希望の方はお求めください。

- ◆市勢要覧おだわら 市役所 総合案内(☎1302) 1部1500円
- ◆小田原市統計要覧 行政総務課(市役所4階・☎1295) 1部1000円

なお、提案用のはがきは、市役所総合案内、各支所・連絡所等に備えてあります。

◆問い合わせ 広報課広聴係 ☎1263

ぼくの学校 わたしの学校

我 曾 小学校

《23》



七夕祭りに登場するかわいいひこ星やおり姫

小田原市の北に位置する私たちの曾我小学校は、創立百七年の歴史を持つ古い学校です。児童数は、二百八十四人という小さな学校ですが、みんな顔見知りなので、学年が違っても兄弟のように仲がよく、とてもまとまりのある学校です。

また、周りを田畑で囲まれ近くには曾我の梅林があるなど、四季それぞれの自然の変化を感じ取ることができるのです。

開校年月日 明治三十三年五月十五日
 学級・児童数 十二学級 二百八十四人
 教職員数 十七人

も自まんの一つです。とくに、学校園では、サツマイモ、米、ジャガイモなど多くの植物をみんなで力を合わせて栽培しています。秋には、これらの収穫をして、その収穫を祝う祭りが行われます。このときは、児童会も協力して、楽しい行事になるように計画を立てます。学年ごとに、植物の成長の様子や収穫の喜びなどを劇や呼びかけで表現したり、学年を縦割りにして作ったおみこしをかついでいたり、とても盛り上がります。

また、二月には、全校で梅祭りの写真会を行い、美しい梅の花にまじかにふれるなど、思い存分、自然に親しんでいます。

こうした行事の外、児童会としても、みんなが仲よく、楽しく過ごせるような集会を行っています。

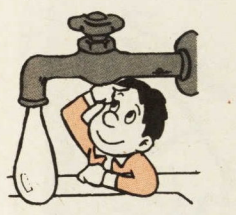
七夕集では、二学年が合



(児童会事務局)

おしらせ・おしらせ・おしらせ

給水管漏水調査にご協力を



市の水道部では、給水管が漏水していないか、調査をしています。旧市内は半年ごと、郊外は1年ごとに一巡しています。調査員が宅地内の調査をして漏水を見付けた場合は、その場で指導しますのでご協力ください。

◆お問い合わせ 工務課 ☎1667

南原遺跡の報告書を発売

文化財保護課では、市内千代の遺跡にある南原遺跡の一部を発掘調査し、この度、B5判112ページの報告書を発売しました。ご希望の方は次のところでお求めください。

◆お問い合わせ 文化財保護課 ☎1717

建築コンクール募集のお知らせ

このコンクールは、環境に調和した、美しく機能的な建築物を表彰することにより、建築物の質の向上と魅力あるまちづくりに役立てるために開催されるもので、小田原市ほか11市と県が共同で主催いたします。今年も国際居住年に当たりますので進んでご応募ください。

◆お問い合わせ 文化財保護課 ☎1717

中小企業者へ市が融資を

市は、市内の中小企業者を対象として、運転資金や設備資金などの融資を行っていますのでご利用ください。

◆運転資金 300万円
 ○貸付限度額 500万円
 ○期間 4年以内(6か月据置)
 ◆設備・運転設備併用資金
 ○貸付限度額 500万円
 ○期間 5年以内(6か月据置)

◆お問い合わせ 商工課商業係 ☎1511

市営プールのアルバイト募集



市では、夏期に開場する市営プールのアルバイトを募集します。

◆募集職種及び人員 御幸の浜・国府津プールの監視員、切符販売員、整理員 男子20人、女子10人

◆勤務期間・時間 7月1日～8月31日 午前8時45分～午後5時

◆賃金 4200円/4900円(日額)

◆申込方法 履歴書、写真貼付を5月31日までに観光課城址施設管理係(〒250小田原市城内6の1・小田原城天守閣内)へ郵送してください。

◆問い合わせ 城址施設管理係 ☎1373

水道がしあわせ 広げた一世紀

水道週間 6月1日～7日

近代水道100周年記念シンボルマーク

競輪開催で交通規制

今月の小田原競輪開催に伴う、競輪場周辺道路の総合交通規制日は次のとおりです。お知らせします。

◆規制日 5月15日(金)、16日(土)、17日(日)

◆お問い合わせ 商工課商業係 ☎1511